

飯盛物語 3



学校教育目標

「命をだいに 人をだいに 自然をだいに美しく」

～やる気(心) 思いやりの心 たくましい心の育成～

飯盛中テーマ「自立 創造 貢献」

R7年度の合言葉「日々安心！」

～生徒一人ひとりに居場所があり

日々安心して頑張れる教室に！～

第10話 令和7年9月16日発行

校長 池田英二

2学期学級委員紹介！！【9月1日（月）】

先日の始業式【9月1日（月）】の後に、2学期の学級委員の任命式を校長室からのリモートで行いました。校長は、全学級委員の前で「各クラスの仲間と協力して、いじめのない明るく楽しい学級づくりをお願いします」という話をしました。本年度の学校教育目標の合言葉は、「日々安心！」～生徒一人ひとりに居場所があり、日々安心して頑張れる教室に！～です。全校生徒一人ひとりが、毎日元気に登校でき、気持ちよく充実した学校生活を送れるように力を尽くしてほしいという願いを込めました。明るく楽しい学級をつくってほしいと思っています。



2学期の学級委員を紹介します。

1年1組：岩永 大空海君 平野 めいさん

1年2組：古場 叶大君 下釜 望愛さん

2年1組：平野 凌成君 青木 結愛さん

2年2組：團野 勇斗君 橋本 華凜さん

3年1組：梅原 蒼君 黒岩 芽依さん

3年2組：小鉢 祐希君 三浦 菜月さん

修学旅行説明会【9月5日（金）】

2年生の生徒・保護者を対象に、修学旅行説明会を実施しました。校長が出張のために教頭先生が代理であいさつをしました。生徒にとっての修学旅行は、中学校生活の一番大きな思い出の一つになります。今年度、私は、修学旅行中に会議が入ってしまい引率することができなくなりました。とても楽しみにしていただけに大変残念です。しかし教頭先生を始め、引率する先生方、添乗員さん、全員で協力して、2年生の生徒一人ひとりにとって一生の思い出に残る、安心・安全で楽しく充実した修学旅行にしてくださいと思っています。説明会には、2年生の多くの保護者の皆様にご参加いただき大変ありがとうございました。



【修学旅行の概要と行程】

○日程：令和7年9月24日（水）～9月26日（金）2泊3日 ○方面：関西（関西・福岡）方面

○9月24日（水）学校【バス】⇒博多駅【新幹線】⇒京都駅【タクシー】⇒京都タクシー研修【タクシー】⇒ホテル着

○9月25日（木）ホテル発【バス】⇒大阪・関西万博【バス】⇒神戸港⇒阪九フェリー泊

○9月26日（金）新門司港着【バス】⇒海の中道マリンワールド【バス】⇒大刀洗平和記念館【バス】⇒学校着

1年生「ふるさと愛」講演会【9月12日（金）】

飯盛町にお住まいの山本芳弘様をお招きして1年生への講演をしていただきました。とても素晴らしい講演で、山本様の飯盛町への大きな愛を感じました。また「山本様のこれまでの歩みや飯盛町の偉人である浦野勝美様の話など」を通して、大きな志と夢をもつことや地域貢献の大切さを1年生に分かりやすく、熱く伝えていただきました。1年生の皆さんにも将来、山本様のように、郷土飯盛町を愛して、飯盛町の良さをどんどん発信していくことができる人になってほしいと思っています。



第1回学校評価の結果について

7月に実施しました第1回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計が終わりましたので、分析結果と併せて報告いたします。詳細については裏面をご確認ください。今回の分析結果や教育相談等から浮き彫りとなった本校の課題に真摯に向き合い、今後の教育活動の質を高めるよう努力していきたいと思っています。今回の学校評価の結果で、一番気になったことは、やはりメディアコントロールに関する達成率が極端に低いことです。長時間のスマホ使用で失うものが6つあると言われています。①睡眠時間 ②学力 ③脳機能 ④体力 ⑤視力 ⑥コミュニケーション能力です。ご家庭でも「テレビ、ゲームやスマホの時間を決める（例）メディア利用は1時間以内で夜9時以降は利用しない。」「勉強する時は、手元にスマホを置かない習慣を身につけさせる」等メディアコントロールのご指導をお願いいたします。これらのことはご家庭でのご協力がなければ学校だけでは絶対に達成できないことです。今後とも本校の学校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※評価内容の青色網掛け部分は、スクールプランにおける重点評価項目

○：目標達成、黄色網掛け：もう少し、△及び桃色網掛け：課題有、改善検討

評価項目	No	評価内容(教師)及び数値目標			達成率(4及び3の評価) %					
		教職員アンケート項目	生徒アンケート項目	保護者アンケート項目	教職員		生徒		保護者	
					7月	12月	7月	12月	7月	12月
やる気	1	「学習5原則」の指導を徹底する教師	「学習5原則」を守る生徒 90%		100		93			
	2	「めあて」「まとめ」「振り返り」を実践する教師 90%	授業がよくわかると答える生徒 90%	学習内容が定着していると答える保護者	90		90		67	
	3	授業の工夫改善に取り組む教師 90%			90					
	4	授業で言語活動に取り組む教師	授業で書く活動や発表があると答える生徒 90%		90		97			
	5	家庭学習のしかたや「自主学習ノート」の指導を行う教師	家庭学習や「自主学習ノート」に毎日取り組む生徒 80%	家庭学習や「自主学習ノート」に取り組んでいると答える保護者	90		89		79	
	6	キャリア教育を意識した取組を行う教師	将来の目標に向かって努力する生徒 80%	将来の目標に向かって努力していると答える保護者	80		75		52	
思い豊かな心				進路情報が提供されていると答える保護者					77	
	7	「当たり前10か条」の指導に取り組む教師	時間や期限を守る生徒 90%	時間や期限を守る態度が身に付いていると答える保護者			82		69	
			返事や挨拶を元氣よく行う生徒 90%	返事や挨拶の習慣が身に付いていると答える保護者	100		90		83	
	8	道徳教育の充実に取り組む教師 100%	机やロッカーの整理整頓を行う生徒 90%	整理整頓の習慣が身に付いていると答える保護者			94		48	
	9	特別支援教育に基づく指導を行う教師 80%	道徳では自分を見つめる場面があると答える生徒		90		96			
	10	自己有用感や自尊感情を高める指導を工夫する教師	授業に集中しやすい環境と答える生徒 90%		100		75			
安心安全な学校	11	生徒理解に努める教師	自分の役割を積極的に果たす生徒 90%	家庭で自分の役割を果たしていると答える保護者	100		93		70	
	12	積極的な生徒指導に取り組む教師			100					
	13	安全面・生徒指導の報告、連絡、相談を確実に行う教師	学校は安全、安心で過ごしやすくと答える生徒 90%		100		83			
	14	いじめ防止基本方針に基づく指導を行う教師 100%	学校にはいじめがないと答える生徒 90%	学校にはいじめがないと答える保護者	100		75		76	
	15	生徒や保護者の悩みや相談に積極的に応じる教師	悩みや相談しやすいと答える生徒 90%	先生(学校)に相談できると答える保護者	100		92		80	
	16	食物アレルギー対応を確実に行う教師			100					
働きやすい職場環境	17	規則正しい生活習慣について指導を行う教師	朝食を毎日食べる生徒 90%	規則正しい生活習慣が身に付いていると答える保護者	90		90			
			規則正しい生活をしている生徒 90%				80		75	
	18	部活動に参加しやすい環境や指導体制の充実	部活動に積極的に取り組む生徒 90%	部活動に積極的に取り組んでいると答える保護者	80		80		69	
	19	メディア接触に関する指導の充実	メディアコントロールができる生徒 80%	メディアコントロールができていると答える保護者	90		39		27	
	20	地域教材や地域人材を積極的な活用 90%	地域行事に積極的に参加する生徒 80%		90		64			
	21	地域や保護者への情報発信		学校のことがよくわかると答える保護者 80%	100				87	
働きやすい職場環境	22	PTA活動への協力		PTA活動に協力する保護者 80%	100				74	
	23	勤務時間の縮減に向けた取組			90					
	24	働きやすい職場環境 90%			90					

【成果と課題】○生徒の学習規律の定着、学習内容に理解については生徒の自己評価は高いが、理解の程度は教科によってばらつきが見られる。10月の市教委の計画訪問に向けて、一人ひとりの職員が学力向上に向けての意識を高め、さらなる授業改善を図りたい。

○R7年度の3年生の全国学力・学習状況調査の結果は、諫早市では国語は上位、数学は中の上の成績を収めることができた。今の3年生が中2の時点の県学力検査の成績と中3での全学の成績を比較すると数学も国語もかなりの伸びが見られる。これまで落ち着いた授業態度で頑張ってきた成果が表れてきている。これから高校入試に向けてさらに頑張らせたい。今年度も全学年「読解力育成」と「書く活動」に焦点を当てた授業の工夫改善に取り組む、生徒の学力向上を図る。

○生徒の学習規律は定着しつつある。全体的には「授業がよくわかる」と回答する生徒の目標はおおむね達成できたが、保護者との意識の違いが気になるところである。

○家庭学習の充実が本校の課題である。家庭学習(自主学習ノート)の取組に関する生徒の評価は高いが卒業後を見据え、発展的な家庭学習への取組についても継続的に指導する必要がある。家庭学習の取組に対する生徒と保護者の意識の違いが気になるところであるが昨年度よりも向上している。

○キャリア教育の「将来に向かって努力する生徒」の項目も保護者と生徒の意識の違いが感じられるが昨年度よりも向上している。また、家庭と連携したキャリア教育を推進するために、学校での進路指導を充実させ、進路指導主事の定期的な「進路便り」の発行により、紙媒体の配付と安心・安全メールを活用した情報提供を積極的に行っているため、保護者への周知も拡大してきた。

○「当たり前10か条」の取組も6年目を迎えて生徒に定着してきた。家庭生活においての整理整頓に課題が見られるようである。

○道徳教育は5年目を迎えた「ローテーション道徳」を通して、全職員による授業実践が定着し充実しつつある。より質の高い道徳教育を目指して、教師一人ひとりの授業力向上を図りたい。

○生徒は学級や学校で自分の役割を積極的に果たし、おおむね自己有用感を感じながら充実した生活を送っている様子がうかがえる。また昨年度より「授業に集中しやすい環境」と答える生徒が増えてきていること【昨年度：65%→本年度：75%】はとてもいい傾向だととらえている。これからもさらに全教職員と全校生徒でチームとして「授業に集中しやすい環境」づくりを行っていく。さらに学級活動での日々の「ミニトーク」の推進や生徒会活動で自治活動の充実を図ることで生徒の自己有用感をさらに高める指導を実践する。

○積極的な生徒指導の実践、定期的な生活アンケートの実施、そして職員の熱心な生徒への関わりにより、昨年度よりも生徒がおおむね安心して学校生活を送っている様子がうかがえる。「いじめがない」と答える生徒・保護者の数値も昨年度よりも少しではあるが増えてきた。今後も緩むことなくいじめ根絶の取組を継続していきたい。

○本校生徒の大部分は数値的には規則正しい生活習慣が身に付いているようであるが、本校の一番の課題は、メディア使用が長く生活リズムが乱れている生徒が多数いることである。生徒会と連携しながら「メディアコントロール1時間以内」の意識を高めるとともに、校区の小学校とも連携しながら年3回の「メディアコントロールチャレンジウィーク」を実施することにより、家庭と連携した指導を根気強く続けていきたい。さらなる家庭との連携・協力の必要性を強く感じている。

○安心安全メールの導入により保護者への連絡体制を強化することができた。今後は、保護者の閲覧が増加するようにさらに周知を図ってきたい。

○本校は地域やPTAの協力が得やすい環境にあると言える。総合的な学習を中心に地域との関わりをさらに深め広げる教育実践に努めていきたい。

○本年度は、昨年度より生徒指導面で落ち着いた取り組みと計画的な教育課程の実践により、教職員の勤務状況は「働きやすい職場環境」の項目で達成率90%となり、昨年度第2回の教職員評価(59%)より大幅に改善することができた。教育の質の向上、部活動の地域展開の取組、そして地域・保護者との関係性の構築など、今後予想される課題を一つ一つクリアしながら、飯盛中の勤務環境の向上に向けて今後も積極的な改善に努めていきたい。